

第7回交流セミナー



グローバルヘルス
総合研究棟
1階大セミナー室

平成29年12月4日(月)14:00-17:20

1. 14:00-14:10 開催の挨拶

長崎大学 熱帯医学研究所 所長

平山 謙二

富山大学 和漢医薬学総合研究所 所長

松本 欣三

2. 14:10-14:35 富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授

門脇 真

「樹状細胞の遊走抑制を新規創薬標的とした免疫抑制薬の漢方薬成分からの探索研究」

3. 14:35-15:00 長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科長 北 潔

「抗がん・抗感染症薬アスコフラノン —自然からの贈り物—」

4. 15:00-15:25 富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授

當銘 一文

「抗マalaria薬開発を指向した天然薬物研究」

<休憩 15:25-15:30 >

5. 15:30-15:55 長崎大学 感染症共同研究拠点 教授

安田 二郎

「新興ウイルス感染症に対する創薬」

6. 15:55-16:20 富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授

スレス アワレ

「Application of NMR metabolomics in understanding the physiological target of Kampo medicine」

7. 16:20-16:45 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 大学院生

アヴェット アレム テクレミカエル

「Japanese Herbal Medicine (Kampo) Based Antimalarial Drug Development」

<休憩 16:45-16:50 >

8. 16:50-17:20 総合討論

お問い合わせ:長崎大学熱帯医学研究支援課 橋口・天野 TEL:(095)819-7803

E-Mail: soumu_nekken@ml.nagasaki-u.ac.jp

熱帯医学と和漢薬研究の新展開
—新しい医療体系の構築をめざして—

